

2016年12月号

特集：テラヘルツ波応用とその可能性（イメージングを中心に）

赤外光領域の中でも波長約 15 μ m から 1 mm (周波数が 0.3 tera Hz から 30 tera Hz までの電磁波) は、テラヘルツ波と呼ばれ、“光と電波の境界領域”である。
本特集では、イメージングを中心にテラヘルツ波の応用について取り上げる。

| No. | タイトル | 執筆者 |
|-----|-------------------------------|---------------|
| 1 | 特集のポイント | OplusE編集部 |
| 2 | 総論 | 大阪大学 |
| 3 | 偏波独立型高速テラヘルツイメージング装置の開発 | 名古屋工大 |
| 4 | ミリ波/テラヘルツ帯高速イメージングカメラの紹介 | |
| 5 | 赤外線暗視撮影におけるカラー化技術の開発 | 産総研 |
| 6 | 赤外天文衛星ASTRO-F「あかり」による全天サーベイ結果 | JAXA |
| 7 | NICT テラヘルツ研究センターの紹介 | NICT |
| 8 | 私の発言 | 「大森整（理化学研究所）」 |

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2016年11月25日
 申込締切：2016年10月25日
 原稿締切：2016年10月28日